

# 未来民進ちば

## 市長に問う

### 次期障害者計画等の基本的な考え方は

**問** 平成30年度から3年間の障害福祉サービス等の見込み量などを定める障害者計画や障害福祉計画の策定に当たり、本市の障害者を取り巻く現状の課題と、それを踏まえた計画の基本的な考え方を伺う。

**答** 障害者やその家族の高齢化により、介護のニーズが高まるとともに各家庭の介護力の低下により、社会全体で障害者を支えることが強く求められている現状の中で、障害者福祉のニーズは多様化し、その対象者も増加し続けている。次期計画では、策定済みの中長期指針の方向性を踏まえるとともに、実態調査結果等をもとに、「親亡き後の支援」「発達障害者に対する支援」「重度の障害のある方たちへの支援」の3項目を特に重点課題とし、さらに東京オリ

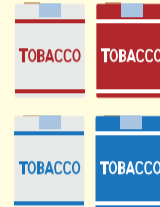
ンピック・パラリンピック競技大会を契機に、障害の有無に関わらず誰もが活躍できる社会づくりに資する施策を積極的に盛り込む。幅広い分野を対象に障害者施策の推進と具体的方策も示すほか、今回から「障害児福祉計画」を一体的に整備していく。

### 受動喫煙防止対策の積極的な推進を

**問** 受動喫煙防止強化の遅れは、人的にも財政的にも多大な損失を与え、たばこの被害を抑制していく世界的な流れにも沿わないものである。これまで、本市が実施してきた対策とそこから見えた課題及びその解決に向けた対策の進め方について伺う。

**答** 健康増進法に基づき、本市の施設は、原則、建物内を禁煙とし、民間施設に対しても利用者が受動喫煙の被害を受けないよう、様々な機会を活用し、

対策の必要性の周知・啓発に努めてきた。しかし、昨年度実施した調査では、受動喫煙の機会を有する人の割合が、家庭ではやや減少しているものの、職場ではほぼ横ばい、飲食店では増加しているなど、施設管理者の努力義務に留まっている現行法による取り組みでは効果に限界があり、より実効性の伴う施策が必要と考える。今後は、国の考え方や東京都の状況などを参考に、実効性ある受動喫煙防止条例の制定に向けた検討を進めていく。また、健康被害の周知・啓発に一層努めるとともに、禁煙支援にも取り組んでいく。



# 公明党千葉市議会議員団

## 市長に問う

### コンビニでの成人雑誌の陳列対策について

**問** 我が会派の提案による、コンビニでの成人雑誌にフィルムをかけることによりゾーニング強化をする陳列対策は、作業負担等を理由に、各社から協力を得られなかったが、この度、ミニストップ株式会社が、成人雑誌の取扱い自体を中止する発表があった。陳列対策への市民の反応と、同社の取り組みとの関係及び本市の認識は。

**答** 陳列対策に、75%が賛成、反対は5%という状況の中、同社は顧客意見を基に独自の検討を進め、誰もが安心して利用できる店舗の実現に向け、店頭販売を中止した。課題を根本から解決できる

取り組みで、同社の英断であると認識している。



### 千葉市第3次実施計画事業(案)の特徴は

**問** 本市では、直面する人口減少や少子高齢化への対応、及び都市のあり方に関する長期的な展望を踏まえた取り組みが重要である。この度公表された第3次実施計画事業(案)の特徴を伺う。

**答** 少子化への対応として、「多様な保育需要への対応」「子どもルームの拡充」「不育症・不妊症対策の推進」や、「小学校英語教育の充実」「キャリア教育の推進」などの取り組み、また、急速

な高齢化への対応として、「在宅医療・介護連携の推進」「あんしんケアセンターの機能強化」や、「100年を生きる健やか未来都市の実現」「生涯現役応援センターの拡充」などを位置付けている。

同時に、人口減少局面においても持続可能なまちづくりを進めるため、「企業立地の促進」「産業用地の整備」や「MICE※2の推進」「グリーンツーリズム※3の推進」などとともに、長期的な集約型都市構造への転換に向けた「立地適正化計画の策定」をはじめ、「高齢者の移動支援」や、「公共施設の計画的保存」「道路施設の長寿命化」など、未来へつなぐまちづくりのための幅広い取り組みを選定している。

## 用語解説

- ※1 認定こども園：幼稚園と保育園の機能をあわせ持つ施設で、保護者が働いているかどうかにかかわらず利用できる。地域の子育て支援も行う。
- ※2 MICE：企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行）（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字のことで、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称
- ※3 グリーンツーリズム：自然豊かなエリアに存在する自然的・歴史的・文化的観光資源を、地域の魅力として活用する滞在型の余暇活動



### 環境経済委員会(議案9件)

#### 競輪場等リニューアルにおける駐車場対策は

**問** 現競輪場敷地内に、新たな競輪事業に向けた多目的スポーツ施設と、老朽化したスポーツ施設を集約した新体育館が整備されることで、多くの市民利用が見込まれるが、その駐車場対策は。

**答** 今後、隣接する千葉公園全体の再整備について検討する中で、駐車場の確保についても検討していく。併せて、できる限り公共交通手段を使っていただくよう呼びかけていく。

### 教育未来委員会(議案1件、請願1件)

#### 中学校入学準備金の適切な支給を

**問** 就学援助<sup>\*</sup>の中学校入学準備金は、これまで入学後の7月に支給してきたが、入学前の3月に支給できるようになった理由は。また、支給対象者が今回の補正予算額を超えた場合の対応は。

**答** 国の制度改正を踏まえて検討を進め、所得審査の課題等を解消したことで、実施が可能となった。小学6年生の就学援助認定者数を参考に予算を計上しているが、超えた場合でも適切に対応していく。<sup>\*</sup>4面の「可決した主な議案」をご覧ください。

### 都市建設委員会(議案5件)

#### 公園遊具復旧の予算化の背景は

**問** 焼失後、長く復旧されなかったロープ遊具が、今回予算化された背景は。

**答** 遊具が高額であり、焼失したものの復旧には国庫補助が活用できず、市費のみでの財源確保が難しかった。また、地元にもその旨、説明を行っていたが、今回、公立保育所、公立小学校及び公園の遊具の再生を用途とした市への寄附があり、それを活用して復旧の予算が確保できた。

